

令和 5 年

## 第 3 回 国民健康保険運営協議会

### 議 案

日 時 令和 5 年 2 月 3 日 (金) 午後 6 時

会 場 市役所 9 階 議会大会議室

苫小牧市国民健康保険運営協議会

# 会 議 次 第

1 開会

2 会長挨拶

3 報告事項

第1号 第24回以降の市議会の結果について

第2号 令和4年度国民健康保険事業特別会計決算見込について

4 協議事項

第1号 令和5年度国民健康保険事業特別会計予算（案）について

5 その他

## 報告事項第 1 号

### 第 2 4 回定例会以降の市議会の結果について

#### 第 2 4 回定例会（令和 4 年 9 月 2 日から 9 月 1 5 日開催）

- （1） 令和 4 年度国民健康保険事業特別会計第 1 回補正予算

9 月 1 2 日全会一致により原案可決

#### 第 2 5 回臨時会（令和 4 年 1 1 月 1 5 日開催）

#### 第 2 6 回定例会（令和 4 年 1 2 月 1 日から 1 2 月 9 日開催）

- （1） 苫小牧市税条例の一部改正

1 2 月 9 日全会一致により原案可決

## 報告第1号-2

### 令和3年度決算委員会の主な答弁内容

#### ■重症化予防事業について

- ・令和3年度は65名に対して受診勧奨を実施し、このうち57名が医療機関への受診に繋がっている。
- ・受診後に医師が保健指導の必要性を認め、2名の指導対象者を紹介いただき、1名が指導終了している。
- ・令和4年度については、レセプトデータから糖尿病の治療中断者を抽出し、対象者に勧奨リーフレットを送付することで受診につなげているところ。

#### ■特定健康診査等経費について

- ・令和3年度の特定健康診査の受診率の速報値は32.9%となっており、令和2年度から0.1%の増となっている。
- ・電話・はがき・SNSを通じた勧奨を行い受診率向上を図ったところだが、令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症に伴う受診離れの影響を受けている状況である。受診率向上のため、引き続き効果的な勧奨に努めていく。

#### ■保険者努力支援制度について

- ・重症化予防や後発医薬品の普及などの取組については、これまでも高い評価を受けており、今後も高得点が期待できるものと考えている。
- ・保険者努力支援制度は原則過去3年間の実績について評価される仕組みのため、現在の取組が今後3年間の得点につながっていくことから、これまで高得点を獲得した取組を活かし、将来の得点の獲得につながるという高い意識を持ち、しっかり取り組んでまいりたい。

#### ■おくやみ窓口について

- ・令和3年度のおくやみ窓口の利用件数は2,092件、事前予約をされた方は221件となっている。
- ・おくやみ窓口の事前予約については、窓口の待ち時間もなく、事前に申請書類を用意しておくことで、さらに所要時間も短縮できることから利用者からは好評をいただいている。事前予約をより利用していただけるよう周知方法を工夫してまいりたい。

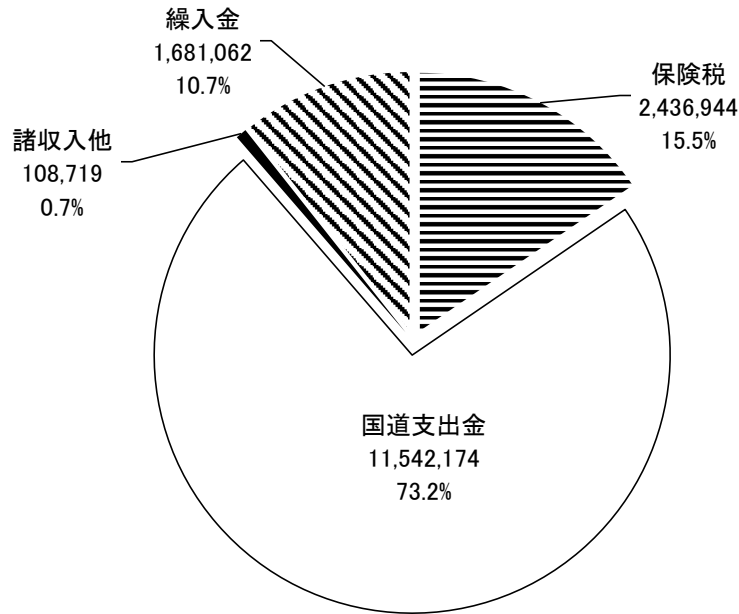
#### ■マイナンバーカードの保険証利用について

- ・令和4年8月末時点の苫小牧市のマイナンバーカードの交付率は47.1%となっている。苫小牧市の国保加入者におけるマイナンバーカードと保険証の紐づけを行っている方は15.5%となっている。
- ・マイナポイント第2弾のポイント申込期限も延長されており、マイナンバーカードと健康保険証の紐づけも加速されると考えている。

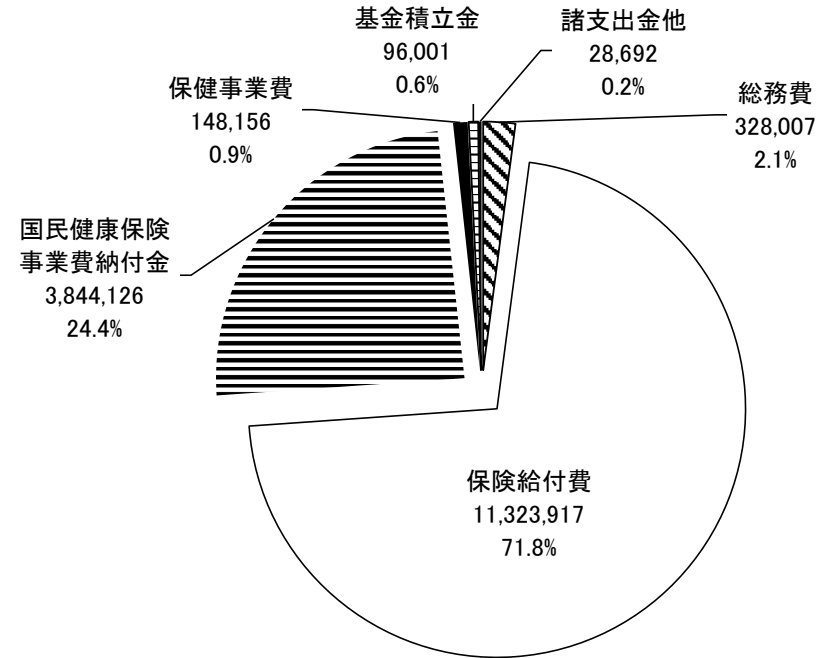
## 報告事項第2号

令和4年度国民健康保険事業特別会計決算見込について

### ●歳入 15,768,899千円



### ●歳出 15,768,899千円



歳 入 (単位：千円)

	予算現額	決算見込額	差引増減
1 国民健康保険税	2,457,070	2,436,944	△ 20,126
2 使用料及び手数料	12	12	0
3 道支出金	11,708,162	11,542,117	△ 166,045
4 財産収入	172	172	0
5 繰入金	1,704,562	1,681,062	△ 23,500
6 諸収入	12,706	12,706	0
7 繰越金	95,829	95,829	0
8 国庫支出金	0	57	57
合 計	15,978,513	15,768,899	△ 209,614
繰入金のうち赤字補てん分	102,600	74,945	△ 27,655

歳 出 (単位：千円)

	予算現額	決算見込額	差引増減
1 総務費	352,881	328,007	△ 24,874
2 保険給付費	11,484,057	11,323,917	△ 160,140
3 国民健康保険事業費納付金	3,844,126	3,844,126	0
4 共同事業拠出金	10	10	0
5 保健事業費	186,786	148,156	△ 38,630
6 基金積立金	96,001	96,001	0
7 公債費	22	22	0
8 諸支出金	14,130	28,160	14,030
9 予備費	500	500	0
合 計	15,978,513	15,768,899	△ 209,614

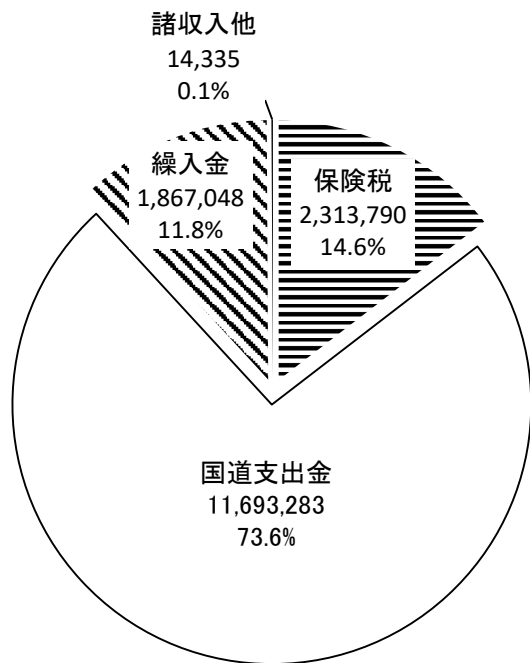
※ 予算現額は、第1回補正後。

※ 端数処理により、構成比の合計は100にならない場合があります。

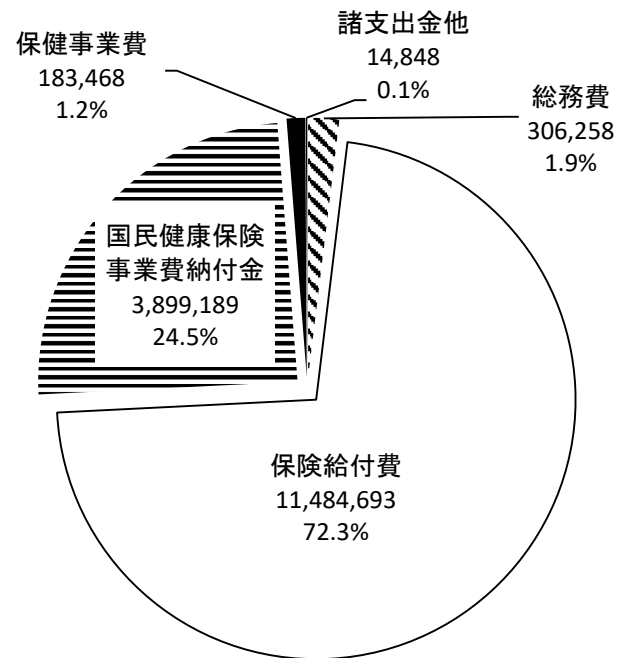
# 協議事項第1号

令和5年度国民健康保険事業特別会計予算（案）について

## ●歳入 15,888,456千円



## ●歳出 15,888,456千円



歳 入 (単位：千円)

	令和5年度予算	令和4年度予算	差引増減
1 国民健康保険税	2,313,790	2,457,070	△ 143,280
2 使用料及び手数料	12	12	0
3 国庫支出金	400	0	400
4 道支出金	11,692,883	11,708,162	△ 15,279
5 財産収入	188	172	16
6 繰入金	1,867,048	1,704,562	162,486
7 諸収入	14,135	12,706	1,429
合 計	15,888,456	15,882,684	5,772
繰入金のうち赤字補てん分	324,517	104,631	219,886

歳 出 (単位：千円)

	令和5年度予算	令和4年度予算	差引増減
1 総務費	306,258	352,881	△ 46,623
2 保険給付費	11,484,693	11,484,057	636
3 国民健康保険事業費納付金	3,899,189	3,844,126	55,063
4 共同事業拠出金	10	10	0
5 保健事業費	183,468	186,786	△ 3,318
6 基金積立金	188	172	16
7 公債費	20	22	△ 2
8 諸支出金	14,130	14,130	0
9 予備費	500	500	0
合 計	15,888,456	15,882,684	5,772

※ 端数処理により、構成比の合計は100にならない場合があります。

# 協議事項第1号-2

## 令和5年度国民健康保険事業特別会計予算案の概要について

### (1) 収支見込みについて

令和5年度予算は、被保険者数の減等による保険税収入の減及び北海道へ支払う納付金の増により、3億2,451万7千円の収支不足を見込んでおり、不足分については国民健康保険事業基金からの繰入れを行うこととしております。

北海道では、毎年度、各市町村の医療費水準や所得水準に応じて納付金を決定し、市町村標準保険税率<sup>\*</sup>を算定し市町村に提示します。市町村では、北海道から提示された市町村標準保険税率を参考に、税率を決定することになります。

本市では、令和3年度に保険税率の改正を検討しましたが、現行の保険税率で令和3～5年度の納付金を支払う税収を概ね確保できると見込んでいたこと、コロナ禍における税収と納付金の動向が不透明であることも考慮し、現行の保険税率を据え置いた経過があります。

しかしながら、令和4年度以降の市町村標準保険税率は、一人当たりの医療費の増などにより想定を上回る増加となっており、本市においては納付金を支払うために必要な保険税収が確保できないことから、不足分を補うための基金繰入金が増加している状況です。

北海道へ支払う納付金に見合う財源を確保するため、令和6年度での保険税率改正や法定課税限度額との乖離解消に向けた取組に着手し、安定的な財政運営に努めていく必要があります。

<sup>\*</sup>市町村標準保険税率～市町村が納付金を支払うために必要となる税収を確保するための税率の理論値

### (2) 前年度予算からの主な増減内容について

#### 【歳入】

#### ① 国民健康保険税 △1億4,328万円

少子高齢化や被用者保険適用拡大などの影響による加入者の減少を見込んでいるほか、被保険者の高齢化による世帯平均所得の減少により減収を見込んでいるもの

#### ② 繰入金 +1億6,248万6千円

保険税収入の減及び国民健康保険事業費納付金の増に伴う基金繰入金の増によるもの

#### 【歳出】

#### ① 総務費 △4,662万3千円

窓口業務の民間委託に伴う人員減による職員給与費等の減のほか、制度改正に伴うシステム改修事業費の皆減によるもの

#### ② 国民健康保険事業費納付金 +5,506万3千円

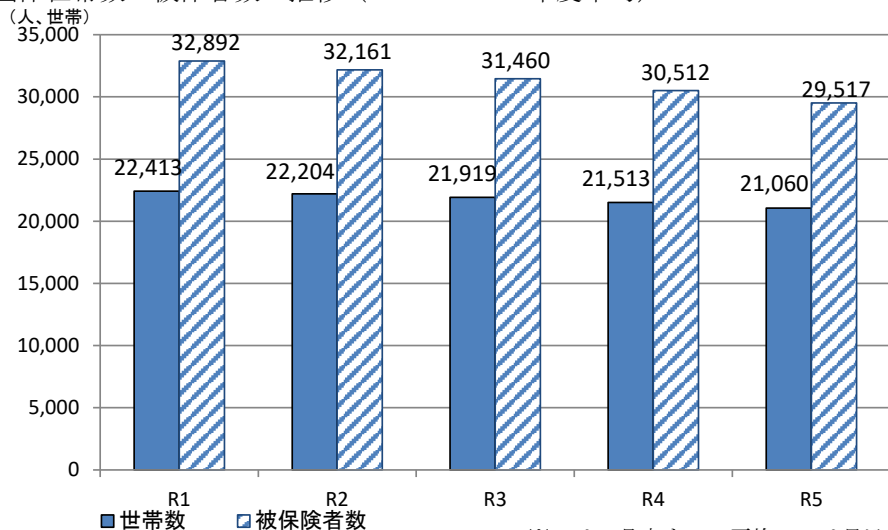
北海道が積算する納付金における一人当たりの保険給付費の増や、北海道が保険者として支払う後期高齢者支援金等の増によるもの

### (3) 国民健康保険事業基金の残高の見込み

	令和3年度末	令和4年度末見込	令和5年度末見込
年度末残高	12億3,970万3千円	12億4,469万7千円	9億2,036万8千円
前年度末比	+ 1億847万4千円	+ 499万4千円	△ 3億2,432万9千円

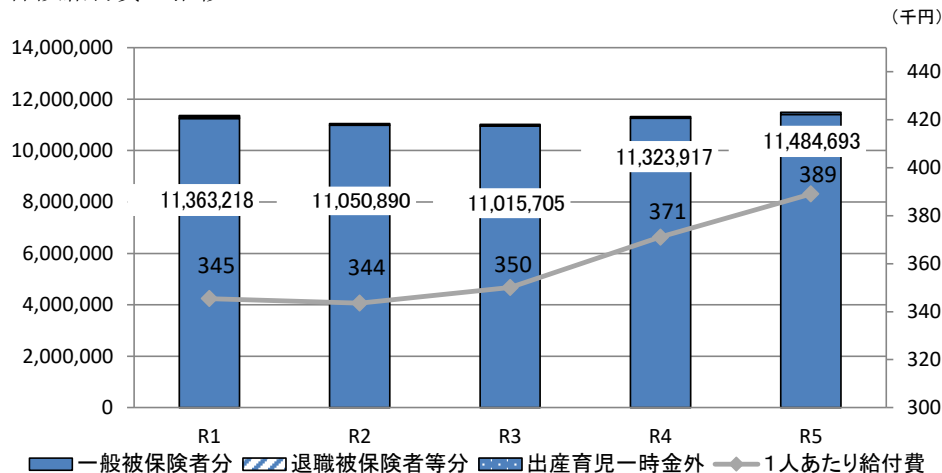
### 協議事項第1号-3

国保世帯数・被保険者数の推移（3-2ベース年度平均）



※R4は12月末までの平均、R5は見込

保険給付費の推移

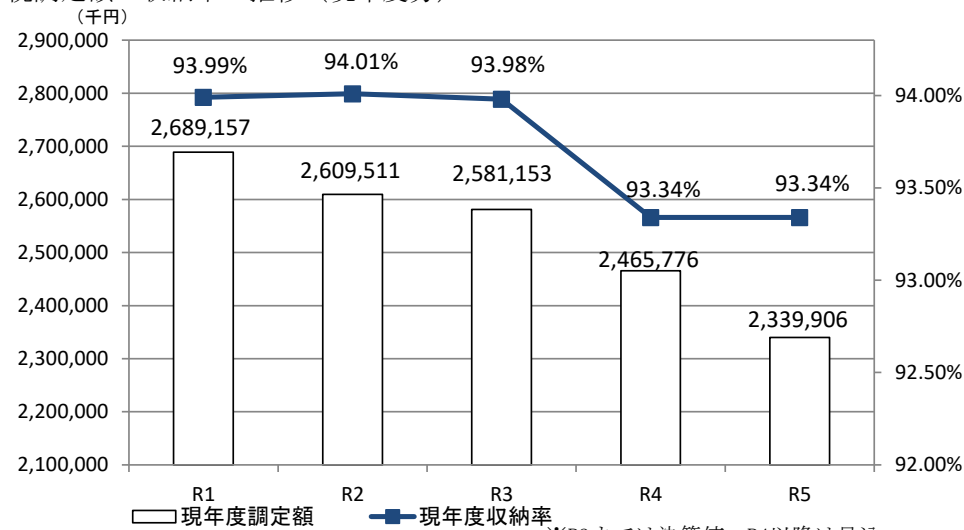


※R3までは決算値、R4以降は見込

※R2以降、傷病手当金を含む

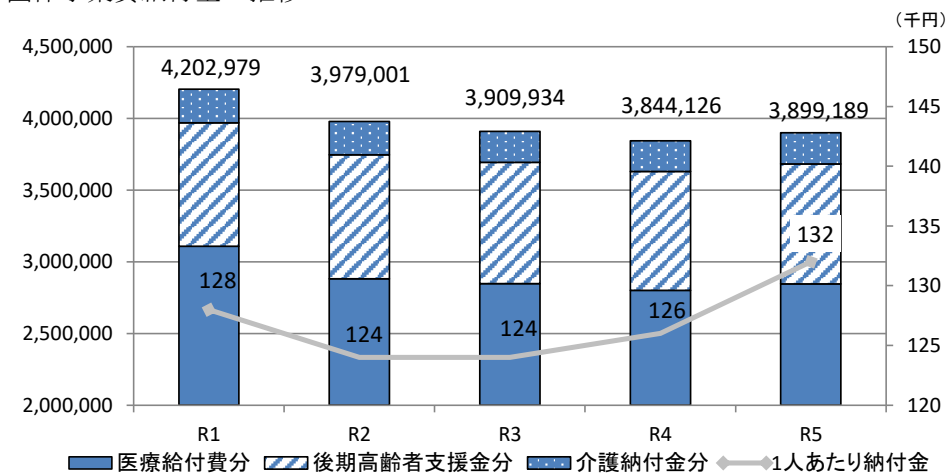
	R1	R2	R3	R4	R5
一般被保険者分	11,252,383	10,985,191	10,949,201	11,253,541	11,408,055
退職被保険者等分	42,266	0	0	0	0
出産育児一時金外	68,569	65,699	66,504	70,376	76,638
1人あたり給付費	345	344	350	371	389

国保税調定額・収納率の推移（現年度分）



※R3までは決算値、R4以降は見込

国保事業費納付金の推移



	R1	R2	R3	R4	R5
医療給付費分	3,108,882	2,881,669	2,848,614	2,801,303	2,846,275
後期高齢者支援金分	860,143	864,367	845,187	828,026	835,672
介護納付金分	233,954	232,965	216,133	214,797	217,242
1人あたり納付金	128	124	124	126	132